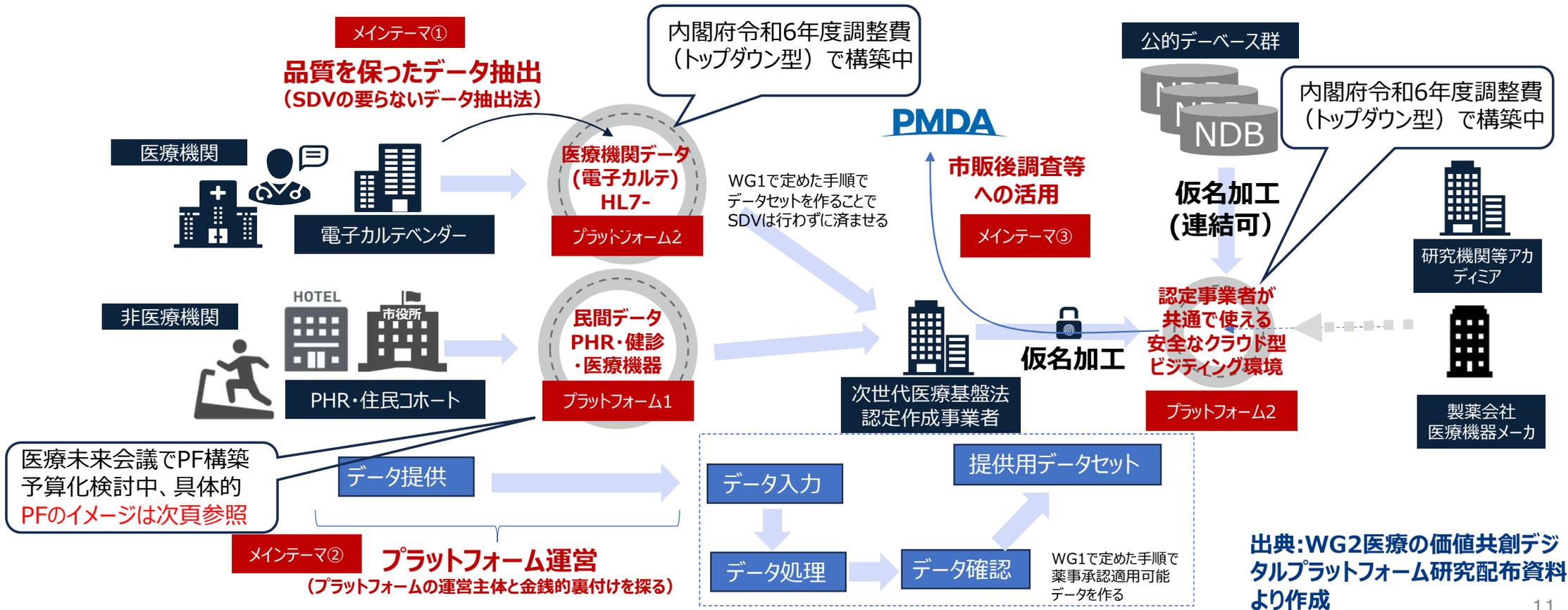


WG2 医療の価値共創デジタルプラットフォーム研究

未来会議WG2では未病・健康・医療データを活用した「つながるヘルスケア共創プラットフォーム」構築を目指す

□ 医療未来会議では、国有データ・医療機関データ・PHRデータ等が集まり・流通するプラットフォームを構築します。

1. 国有データ・医療機関データ(電子カルテ)・PHRデータ等が集まるデータ流通プラットフォーム
2. 次世代医療基盤法認定作成事業者が共通で使えるデータ提供プラットフォーム (ビジティング環境)



「未病・健康・医療データを活用した「つながるヘルスケア共創プラットフォーム」とは？」

【国有データ・医療機関データ・PHRデータを集めて活用するビジネスモデルの共創】

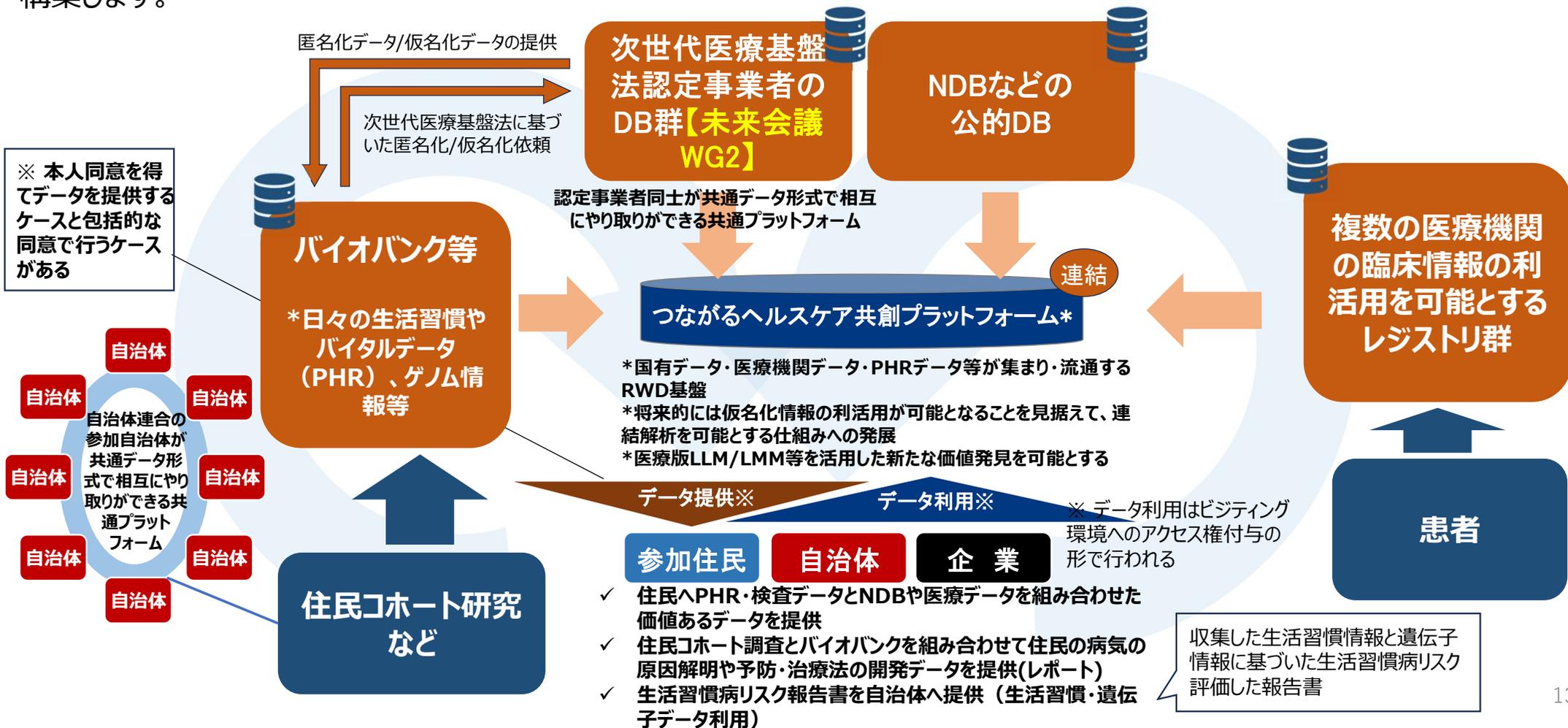
ゲノムを含む個人データを連結し、匿名または仮名で利用できる基盤を国が整備する中で、この基盤にデータを注ぎ込み、得られる匿名加工医療情報の新しい活用法を共創してまいります。そして、データ提供者とデータ利用者がともに恩恵を享受できるビジネスモデルを共創することを目指します。

【医療版AI(LLM/LMM等)を活用した新たな価値発見を可能とする】

医療版LLM/LMMが、患者の症状、検査結果、医療記録などの情報を分析し、医師が診断を下す際の参考情報として活用されるようにするため、考えられる病気の候補を医師に示します。これは、情報収集と分析、患者の症状（例えば、発熱、咳、腹痛など）各種検査結果（血液検査、画像検査など）過去の病歴、家族歴これらの情報をLLM/LMMが解析し、病気の可能性を予測します。そのためLLM/LMMが疾患候補を導き出すプロセスについて実験を通して明確にして参ります。

未病・健康・医療データを活用した「つながるヘルスケア共創プラットフォーム構築イメージ」

コホート研究等における日常生活のデータから患者のゲノム情報、さらには医療機関等における診療情報、また医療レセプト等を連結しデータ利活用を可能として、未病～健康～医療全領域における各社の研究開発等に活用を可能とする仕組みを構築します。



未来会議では「つながるヘルスケア共創プラットフォーム」構築を目指す ～次世代医療基盤法のスキームの活用～

- 次世代医療基盤法のスキームを活用し、データ提供者とデータ利用者を結ぶことで、価値を共創してまいります。
 1. データ提供・データ利用に伴う各種届出等業務を受託することで、仕組みを利用するハードルを下げてまいります。
 2. データ提供者とデータ利用者を仲介し、共同研究・共同開発のスキームを生み出してまいります。
 3. 共同研究・共同開発の成果を社会実装するための道筋を整えてまいります。

